

会 議 録

会 議 の 名 称	平成29年度第1回津軽広域水道企業団水道用水供給事業 経営検討審議会
開 催 年 月 日	平成29年 5月29日 (月)
開 始 ・ 終 了 時 刻	午前10時 から 午前11時30分まで
開 催 場 所	津軽広域水道企業団管理本館2階 大会議室
議 長 等 の 氏 名	会長 弘前大学人文社会科学部教授 飯島 裕胤
出 席 者	会長 飯島 裕胤 委員 大高 重文 須藤 勝美 小田桐 隆 (代理) 小山内功治 一戸 隆雄 對島 猛清 相坂 篤 楠美 仁康 成田 正利 高橋 隆治 小嶋 俊一
欠 席 者	なし
事 務 局 職 員 の 職 氏 名	事務局長 福士 洋一 総務課長 乗田 幸夫 浄水課長 谷澤 諭 総務課参事 千葉 亨 浄水課総括主幹 佐藤 克嗣、寺山 富士義、山田 章永、 伊藤 久志 総務課主幹 小田切 峰 総務課総括主査 齊藤 英樹 浄水課総括主査 盛 吉明、清野 真人、長内 一浩
そ の 他 の 出 席 者	株式会社東京設計事務所東京支社 水道グループ水道第1チーム 上席主幹 園山 徹 同 主事 山田 陽平 同 主事 福田 紫瑞紀
会 議 の 議 題	・ 諮問 ・ 会長職務代理者の選任 ・ 審議会の目的、スケジュール等について ・ アセットマネジメント検討結果について ・ 諮問案件の説明 津軽広域水道用水供給事業ビジョン (案) 津軽広域水道用水供給事業建設改良事業計画 (案) 津軽広域水道企業団水道用水供給事業経営戦略 (案)
会 議 結 果	・ 水道用水供給事業ビジョン (案) 等について、審議会に諮問 ・ 会長職務代理者に大高委員を選出 ・ 諮問案件について事務局より説明
会 議 資 料 の 名 称	資料1 水道用水供給事業経営検討審議会 概要 資料2 アセットマネジメント説明資料 資料3 津軽広域水道用水供給事業ビジョン (案) 説明資料 資料4 津軽広域水道用水供給事業建設改良事業計画 (案) 資料5①～③ 経営戦略 (財政計画) 説明用資料 資料6 アセットマネジメント検討結果 資料7 津軽広域水道用水供給事業ビジョン (案) 資料8 津軽広域水道企業団水道用水供給事業経営戦略 (案) 資料9 津軽広域水道企業団津軽事業部水道施設耐震化計画 (案)

<p>会議内容</p> <p>(発言者、 発言内容、 審議経過、 結論等)</p>	<p>委嘱状交付式は省略。</p> <p>1 事務局長挨拶</p> <p>2 飯島会長挨拶</p> <p>3 諮問</p> <ul style="list-style-type: none">・福土事務局長より飯島会長へ、諮問書を交付 <p>4 会長職務代理者の選任</p> <ul style="list-style-type: none">・選出方法：審議会運営規程第5条第2項により、会長が指名・飯島会長が大高重文委員（弘前市上下水道部総務課長）を会長職務代理者に指名。大高委員承諾。 <p>5 案件（事務局説明）</p> <ul style="list-style-type: none">① 本審議会の目的、スケジュール等② 水道用水供給事業におけるアセットマネジメント検討結果（検討期間：平成30年度～40年間 施設の更新需要、財政見通しの検討）③ 津軽広域水道用水供給事業ビジョン（案）（計画期間：平成30年度～39年度）④ 津軽広域水道用水供給事業建設改良事業計画（案）（計画期間：平成30年度～39年度）⑤ 津軽広域水道企業団水道用水供給事業経営戦略（案）（計画期間：平成30年度～39年度 投資財政計画を核とする内容） <p>各委員との質疑応答は以下のとおり。</p> <p>小山内委員（平川市）</p> <p>（資料5①～③について）グラフ（西暦）と本文（和暦）の年度表記を、どちらかに統一していただきたい。</p> <p>総務課長</p> <p>次回までに直して作成する。</p> <p>一戸委員（青森市）</p> <p>水道用水供給事業ビジョン（案）の説明で、官民連携とか広域化という話が出たが、例えば、アウトソーシングとか包括委託とか、そういう委託というのも考えているのか。</p> <p>また、広域化について、垂直統合をイメージされているのか、そういうのも含めての検討ということなのか。</p>
---	---

浄水課長

広域化については、垂直統合を目指す段階には至っていない。アウトソーシングについても、現段階では包括委託を目指す方向性はない。全て検討を継続していく段階である。

一戸委員（青森市）

それらが具体的に見えた段階では、投資計画や財政計画も変わってくるということか。

浄水課長

皆さんと審議会等で協議等になると考えている。

小山内委員（平川市）

料金改定について、（料金単価改定率）5%というのは現行単価から見て5%ということと考えればいいのか。

総務課長

現行の料金単価の5%改定である。

飯島会長

アセットマネジメント手法で、できるだけ更新費用を削減するのは非常によいことだと思うが、その試算結果を前提にして財政見通しを出しているのか。

また、財政見通しにおいて人口動態をどういうふう考えているのか、データの出所をお知らせいただきたい。

総務課長

（アセットマネジメント手法による）試算結果を各計画に反映させて作成している。

人口動態について、当企業団は用水供給事業ということから、構成市町村の水需要（予測）にもとづき財政計画を策定している。

総務課参事

昨年度、基本水量の見直しに関する市町村と協議する場において、将来の水需要予測を各市町村から提出していただき、それをもとにして給水量を算定している。

飯島会長

人口動態は少し緩やかに見積もっているような、もうちょっと減少するのではないかという感覚がある。次回まで、この水需要でいいのかどうかご検討していただきたい。もう少し悲観的なケースを考えたほうがよいのではないか。

料金単価を調整していくということだが、この計画どおりいくと全部で何%上がるのか。平成 58 年度までに 40%程度

	<p>上昇すると考えてよいか。</p> <p>総務課参事 56%くらいである。(実際は 47%)</p> <p>6 その他 (事務連絡)</p> <p>総務課主幹 本日の事務局説明を踏まえ、資料を持ち帰って内容をそれぞれ確認していただき、水道事業ビジョン (案) 等に関する意見、質問等につきまして、改めて文書で照会します。提出期限は 6 月下旬頃を予定。皆さんからいただいた修正等のご意見等については、それらを踏まえた修正案を事務局で作成して、次回審議会で諮らせていただきたい。 次回の審議会は 7 月 27 日 (木) 10 時を予定している。</p> <p style="text-align: center;">— 閉会 —</p>
<p>その他必要事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議は報道機関に公開。 ・ 当日取材は 3 社 (東奥日報、陸奥新報、津軽新報)